



DS-K1108AD シリーズ カードリーダー

ユーザーマニュアル

法的情報

©2020 杭州 Hikvision デジタルテクノロジー株式会社。すべての権利は保留されています。

このマニュアルについて

このマニュアルには、製品の操作および管理に関する説明が記載されています。このマニュアルに掲載されている写真、図、画像、およびその他の情報は、説明および解説のみを目的としています。このマニュアルに記載されている情報は、ファームウェアのアップデートなどの理由により、予告なく変更される場合があります。このマニュアルの最新バージョンは、Hikvision のウェブサイト (<https://www.hikvision.com/>) でご確認ください。本マニュアルは、製品をサポートする専門家の指導と支援を受けてご使用ください。

商標

HIKVISION およびその他の Hikvision の商標およびロゴは、各管轄区域において Hikvision の財産です。

その他の商標およびロゴは、それぞれの所有者の財産です。

免責

適用される法律で許される最大限の範囲において、本マニュアルおよび本マニュアルで説明される製品（ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は、「現状有姿」かつ「一切の欠陥およびエラーを含む」状態で提供されます。HIKVISION は、商品性、満足のいく品質、特定の目的への適合性を含むがこれらに限定されない、明示的または黙示的な保証は一切行いません。本製品の使用は、お客様ご自身の責任において行ってください。HIKVISION は、契約違反、不法行為（過失を含む）、製造物責任、その他に基づくものであるかを問わず、事業利益の損失、事業の中断、データの損失、システムの破損、または文書の損失を含むがこれらに限定されない、いかなる特別、結果的、偶発的、または間接的な損害についても、お客様に対して一切責任を負いません。システムの破損、または文書の損失を含む損害について、契約違反、不法行為（過失を含む）、製品責任、またはその他の理由に基づくものであっても、製品の使用に関連して生じた場合、HIKVISION は一切の責任を負いません。これは、HIKVISION がそのような損害または損失の可能性について事前に通知を受けていた場合でも同様です。

お客様は、インターネットの性質上、セキュリティ上のリスクが内在していることを認識し、サイバー攻撃、ハッカーの攻撃、ウイルス感染、その他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常な動作、プライバシーの漏洩、その他の損害について、HIKVISION は一切の責任を負わないことを認めます。ウイルス感染、またはその他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常な動作、プライバシーの漏洩、その他の損害について一切の責任を負いません。ただし、必要に応じて、HIKVISION はタイムリーな技術サポートを提供します。

あなたは、この製品を適用されるすべての法律に準拠して使用することに同意し、あなたの使用が適用される法律に準拠していることを確保する責任は、あなただけに帰属します。特に、お客様は、パブリシティ権、知的財産権、データ保護およびその他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない、第三者の権利を侵害しない方法で本製品を使用することについて責任を負います。お客様は、大量破壊兵器の開発または製造、核爆発に関連する活動、または安全でない核燃料サイクルに関連する活動を含む、禁止された最終用途のために本製品を使用してはなりません。

製造、核爆発または安全でない核燃料サイクルに関連するいかなる活動、または人権侵害を支援する目的での使用は禁止されます。

本マニュアルと適用法との間に矛盾がある場合は、適用法が優先するものとします。

データ保護

デバイスの使用中、個人データが収集、保存、処理されます。データを保護するため、Hikvision デバイスはプライバシーバイデザイン原則に基づいて開発されています。例えば、顔認識機能を備えたデバイスでは、生体認証データは暗号化方式でデバイスに保存されます。指紋デバイスでは、指紋テンプレートのみ保存され、指紋画像を復元することは不可能です。

データ管理者として、お客様は、適用されるデータ保護法および規制に従ってデータを収集、保存、処理、転送することが推奨されます。これには、個人データを保護するためのセキュリティ管理の実施（合理的な管理上および物理的なセキュリティ管理の実施、セキュリティ管理の有効性に関する定期的なレビューおよび評価の実施など）が含まれますが、これらに限定されません。

規制情報

FCC情報

コンプライアンスの責任者が明示的に承認していない変更または改造は、お客様の機器の操作権限を無効にする場合がありますのでご注意ください。

FCC 準拠: この機器は、FCC 規則のパート 15 に準拠し、クラス B デジタル機器の制限に適合することが試験により確認されています。これらの制限は、住宅環境における有害な干渉を合理的に防止するために設定されています。この機器は、無線周波エネルギーを発生、使用、および放射します。指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置において干渉が発生しないことを保証するものではありません。この機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を与えている場合（機器の電源をオフにして確認してください）、ユーザーは次のいずれかの方法で干渉の解消を試みてください。

—受信アンテナの向きや位置を変更する。

—機器と受信機の間隔を広くしてください。

—機器を、受信機が接続されている回路とは異なる回路のコンセントに接続してください。

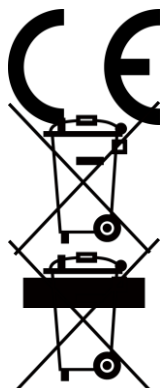
—販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。FCC 条件

この装置はFCC規則の第15部に準拠しています。動作は次の2つの条件に準拠しています:

1. この装置は有害な干渉を引き起こしてはなりません。

2. この装置は、受信した干渉（装置の正常な動作を妨げる可能性のある干渉を含む）をすべて受け入れる必要があります。

EU適合宣言



この製品および付属のアクセサリ（該当する場合）には「CE」マークが付けられており、EMC 指令 2014/30/EU、RoHS 指令 2011/65/EU に記載された、適用される欧州統一規格に準拠しています。

2012/19/EU（WEEE指令）：このマークが付いた製品は、欧州連合内で分別収集されない一般廃棄物として処分できません。適切なリサイクルのため、同等の新品を購入する際は、この製品を販売店に返却するか、指定の回収場所に処分してください。詳細情報は、www.recyclethis.info をご確認ください。

2006/66/EC（電池指令）：この製品には、欧州連合では一般廃棄物として処分できない電池が含まれています。電池に関する具体的な情報については、製品のドキュメントをご覧ください。電池には、カドミウム（Cd）、鉛（Pb）、水銀（Hg）を示す文字を含むこの記号が記載されています。適切なリサイクルのため、電池は販売店または指定の回収場所に返却してください。詳細については、www.recyclethis.info をご覧ください。

カナダ産業省 ICES-003 準拠

この装置は、CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A) 規格の要件を満たしています。

安全に関する指示

これらの指示は、ユーザーが製品を正しく使用し、危険や財産の損失を防止するために用意されています。

予防措置は、危険と注意に分類されます：

危険：警告を無視すると、重大な怪我や死亡事故が発生する可能性があります。

注意：注意を無視すると、けがや機器の損傷を引き起こす可能性があります。

	
危険： 重大な怪我や死亡を防止するため、これらの安全対策を必ず遵守してください。	注意： 怪我や材料の損傷を防ぐため、これらの注意事項に従ってください。

危険：

- すべての電子操作は、お住まいの地域の電気安全規制、防火規制、およびその他の関連規制を厳守してください。
- 弊社が提供する電源アダプタをご使用ください。消費電力は、必要値以上にしてください。
- 複数の機器を 1 つの電源アダプタに接続しないでください。アダプタの過負荷により、過熱や火災の原因となる場合があります。
- 本製品の配線、設置、分解を行う場合は、必ず電源が切れていることを確認してください。
- 製品を壁や天井に取り付ける場合は、しっかりと固定してください。
- 本製品から煙、異臭、異音が発生した場合は、直ちに電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、サービスセンターにご連絡ください。
- 製品が正常に動作しない場合は、販売店または最寄りのサービスセンターまでご連絡ください。絶対に自分で分解しないでください。（不正な修理やメンテナンスによる問題については、当社は一切の責任を負いません。）

注意：

- 装置を落としたり、物理的な衝撃を与えたりしないでください。また、高電磁波放射にさらさないでください。振動する表面や衝撃を受ける場所への設置を避けてください（無視すると装置の損傷を引き起こす可能性があります）。
- 本製品を、極端な高温（詳細な動作温度については、本製品の仕様書をご参照ください）、低温、ほこりや湿気の多い場所、電磁波の強い場所に置かないでください。
- 室内用機器のカバーは、雨や湿気から保護してください。
- 機器を直射日光、換気不良の場所、またはヒーターやラジエーターなどの熱源にさらすことは禁止されています（無知による火災の危険があります）。
- 装置を太陽や極端に明るい方向に向けしないでください。そうすると、画面のちらつきや汚れが発生する可能性があります（ただし、これは故障ではありません）。同時に、センサーの耐久性に影響を与える可能性があります。

- 装置カバーを開ける際は、付属の手袋を使用し、装置カバーに直接触れないようにしてください。指からの汗の酸が装置カバーの表面コーティングを腐食するおそれがあります。
- 装置カバーの内部および外部表面を清掃する際は、柔らかく乾いた布を使用し、アルカリ性洗剤は使用しないでください。
- 開封後は、すべての包装材を保管してください。万一故障が発生した場合は、元の包装材と共に製品を工場へ返送する必要があります。元の包装材なしで輸送した場合、製品に損傷が生じ、追加費用が発生する可能性があります。
- バッテリーの不適切な使用または交換は、爆発の危険を引き起こす可能性があります。交換する場合は、同じまたは同等のタイプのみを使用してください。使用済みのバッテリーは、バッテリー製造元の指示に従って処分してください。
- カードが紛失した場合は、速やかにカードと成績表の紛失を報告してください。
- 複数のカードタイプに対応しています。カード性能と利用シーンに応じて、適切なカードタイプを選択してください。

入手可能モデル

製品名	モデル
カードリーダー	DS-K1108AD
	DS-K1108ADK

取扱説明書に記載されている電源のみを使用してください。

モデル	メーカー	標準
TS-A018-120015Ec	深セン・トランシン・テクノロジー 株式会社	CEE

内容

第1の概要.....	1
2の外観.....	2
2.1 前面図.....	2
2.2 後部ビュー.....	2
3のインストール.....	4
3.1 DIP スイッチの説明.....	4
3.2 配線ケーブル.....	4
3.2.1 ケーブルの説明.....	5
3.2.2 RS-485通信モードの設定.....	5
3.2.3 Wiegand 通信モードの設定.....	6
4章サウンドプロンプトとインジケータ.....	8
付録A. 予防措置と注意事項.....	9
付録B. 通信マトリックスとデバイスコマンド.....	10

第1章 概要

カードリーダーは、32 ビットの高速プロセッサを搭載した高性能製品で、DESfire カードを読み取ることができます。RS-485 プロトコルまたは Wiegand プロトコルのいずれかでアクセスコントローラと通信します。また、内蔵の改ざん防止モジュールにより、カードリーダーを悪意のある損傷から保護します。外観は、PC+ABS 材質を採用しており、悪環境下でも防水および防塵性能を発揮します。

第2章 外観

2.1 前面ビュー

カードリーダーの前面図は以下に示します:

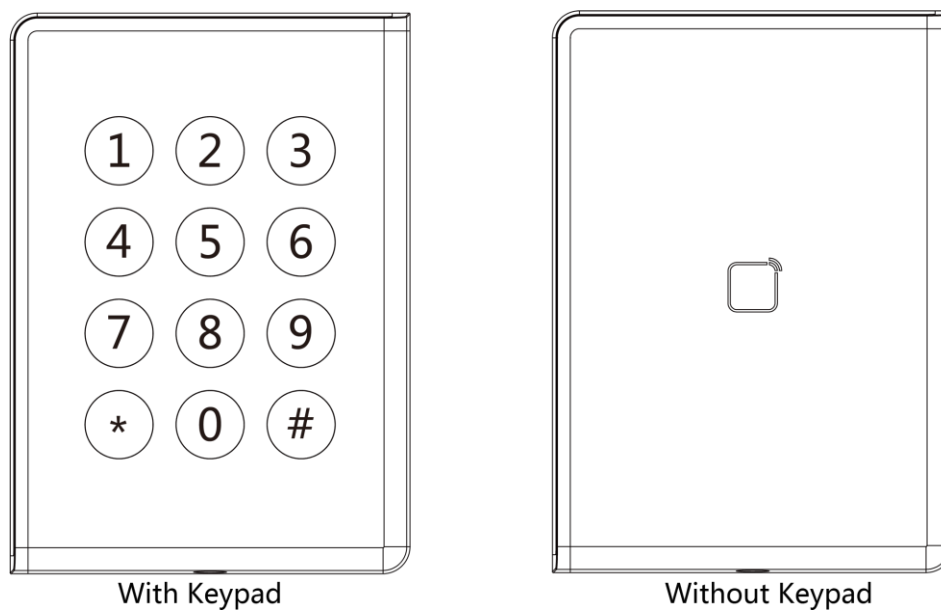


図2-1 前面図

2.2 後部ビュー

カードリーダーの後面図は以下に示します:

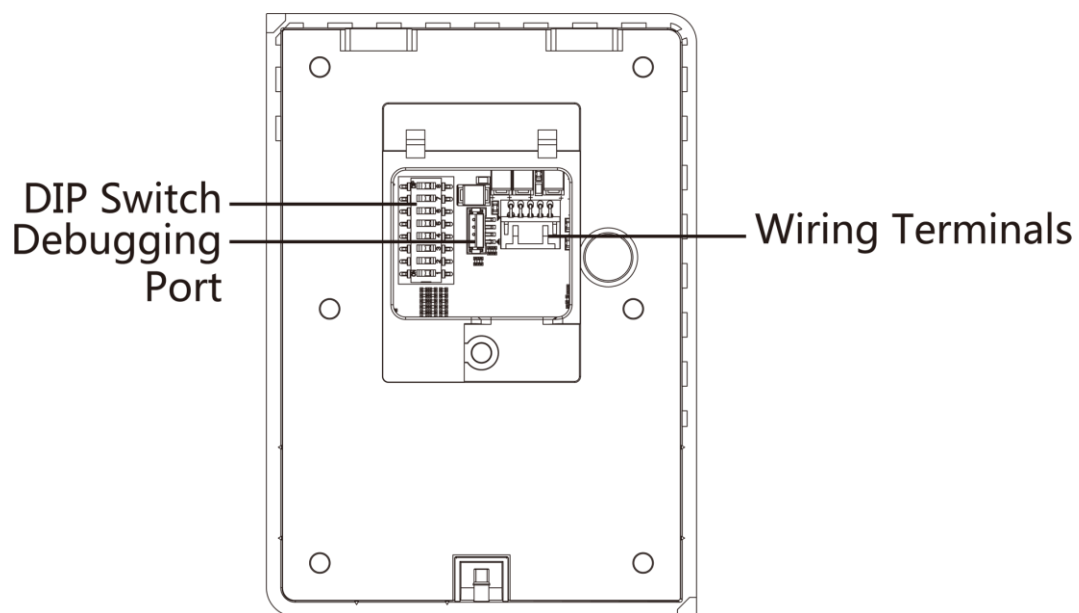


図2-2 後面図

第3章 インストール

3.1 DIP スイッチの説明

DIP スイッチモジュールを以下に示します。DIP スイッチの番号は、左から右に 1 から 8 までです。



スイッチがONの位置にある場合、そのスイッチは有効です。そうでない場合、スイッチはオフです。以下の図のようにDIPスイッチを設定した場合、その二進数は00001100となり、十進数は12です。



表 3-1 DIP スイッチの説明

No.	説明	DIPスイッチの状態
1～4	RS-485のアドレス	1: 1 0: 0
5	カードセキュリティ	1: Desfireカード暗号化機能を有効にします。 0: Desfire カード暗号化機能を無効にし、カード番号を読み取ります。
6	Wiegand プロトコルまたは RS-485 プロトコル。	1: ウィーガンドプロトコル 0: RS-485 プロトコル
7	Wiegand プロトコル (No. 6 が 1 の場合に使用可能)	1: 26 ビットの Wiegand プロトコル、 0: 34 ビットの Wiegand プロトコル。
8	抵抗値 (RS-485 プロトコルで使用可能)	1: 有効 0: 無効

3.2 配線ケーブル

コントローラーとカードリーダーの間でケーブルを接続し、両者の通信を確立します。

3.2.1 ケーブルの説明

10 本のケーブルの説明を以下に示します。

表 3-2 ケーブルの説明

カラー	説明
オレンジ	Wiegand ERR (Wiegand プロトコルで使用可能)
茶	Wiegand OK (Wiegand プロトコルで使用可能)
白	Wiegand W1 (Wiegand プロトコルに対応)
グリーン	Wiegand W0 (Wiegand プロトコルに対応)
青	RS-485-
イエロー	RS-485+
赤	電源 (+12 VDC)
黒	GND
グレー	不正操作検知
紫	ビープ音制御 (Wiegand プロトコルで使用可能)

3.2.2 RS-485通信モードの設定

ステップ

1. No. 6 の DIP スイッチを 0 に設定します。
2. RS-485 アドレスおよびカード読み取りモード用に、No. 1～5 の DIP スイッチを設定します。詳細については、DIP スイッチの説明を参照してください。

D スイッチの説明

3. コントローラーとカードリーダーの間を、以下の図に示すようにケーブルで接続します。

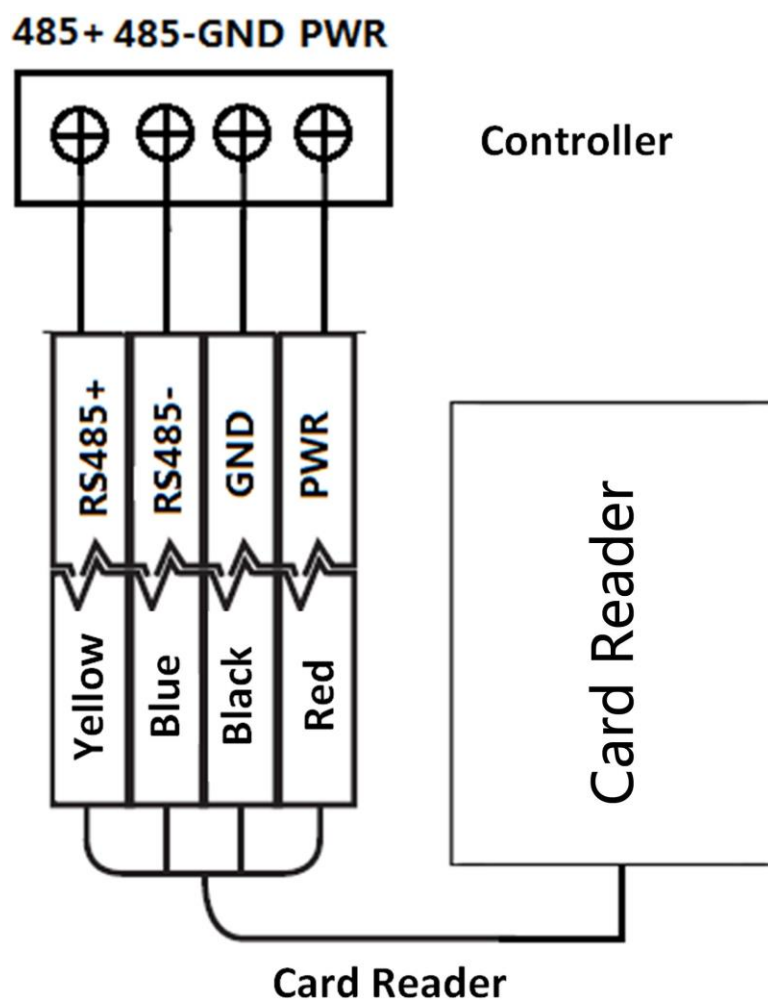


図3-1 RS-485通信モードの配線

3.2.3 ワイガンド通信モードの設定

手順

1. No. 6 の DIP スイッチを 1 に設定します。
2. カード読み取りモードと Wiegand プロトコル用に No. 5 および 7 の DIP スイッチを設定します。詳細については、**DIP スイッチの説明**を参照してください。
3. コントローラーとカードリーダーの間で、以下の図に示すようにケーブルを配線します。

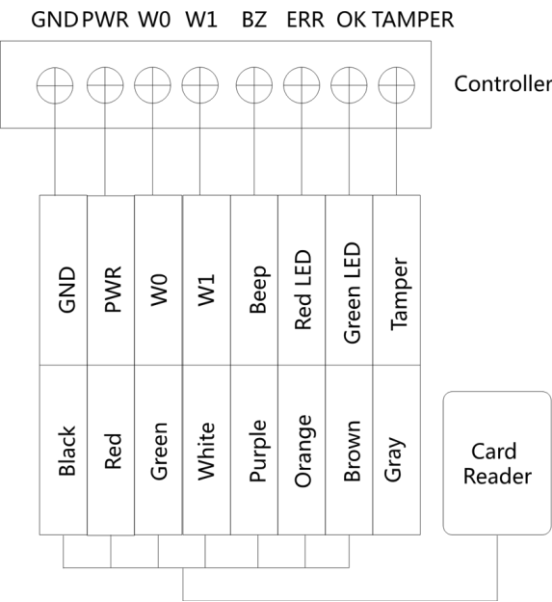


図3-2 ワイガンド通信モードの配線

第4章 音声プロンプトとインジケーター

カードリーダーの電源をオンにすると、LED ステータスインジケータが緑色に点灯し、1 回点滅します。その後、赤色に点灯し、3 回点滅します。最後に、ブザーがビープ音を鳴らし、起動プロセスが完了したことを知らせます。

カードリーダーを使用する際は、異なる音の通知音が鳴り、LEDインジケーターのステータスが変化します。詳細な情報は以下の表をご参照ください。

表 4-1 プロンプト音の説明

音の案内	説明
1回ビープ音	カード挿入を促す音
	キーを押すプロンプト
	カード番号入力時のキー長押しプロンプト
	キーを押すかカード提示のタイムアウトプロンプト。
	認証のため：カード提示後にパスワードの入力を促す。
2回の短いビープ音	キーの押下またはカードのスワイプ操作は有効です。
3回のゆっくりとしたビープ音	キーの押下またはカードのスワイプ操作は無効です。
連続した速いビープ音	改ざん防止アラームの要求。
	ブザーアラームの要求。
ゆっくりとした連続したビープ音	カードリーダーが暗号化されていません。

表 4-2 LED スイッチの説明

LEDインジケーターの状態	説明
緑色で1回点滅し、赤色で3回点滅	カードリーダーの電源が入っています。
緑色点滅	カード+ パスワード認証：カード提示後にパスワードの入力を促します。
2秒間点灯（緑色）	キーの押下またはカードの提示操作は有効です。
赤色点灯	カードリーダーは正常に動作しています。
赤色点滅（3回）	キーを押す操作またはカード提示の操作は無効です。
赤色点滅	RS-485 プロトコル：登録に失敗したか、カードリーダーがオフラインです。

付録A. 予防措置と注意事項

カードリーダーが正常に動作するように、以下の注意事項をよくお読みの上、遵守してください。

- カードリーダーがコントローラから電源供給されている場合、電源の距離は 100m 以内にしてください。距離が 100m を超える場合は、外部 12 V（範囲：-10%～+10%）の非スイッチ式リニア DC 電源でカードリーダーに電源を供給することをお勧めします。
- コントローラーとカードリーダー間の通信を保証するため、接続には0.5以上のRVVPケーブルを使用する必要があります。
- カードリーダーを屋外または浸透しやすい環境に設置する場合は、防水シールドを取り付けることをお勧めします。
- 複数のカードリーダーをインストールする場合、それら間の距離は30cm以上確保する必要があります。
- 長距離伝送時のノイズを低減するため、ケーブルのシールドはコントローラーとカードリーダーの端子両方のGNDに接続する必要があります。
- カードが紛失した場合は、カードに注意し、紛失した場合は速やかに報告してください。
- より高いセキュリティレベルが必要な場合は、複数の認証モードを使用してください。
- 複数のカードタイプに対応しています。カード性能と使用シナリオに応じて適切なカードタイプを選択してください。

付録B. 通信マトリックスとデバイスコマンド

通信マトリックス

以下のQRコードをスキャンして、デバイス通信マトリックスを取得してください。

このマトリックスには、Hikvision アクセス制御およびビデオインターコムデバイスのすべての通信ポートが含まれています。



図B-1 通信マトリックスのQRコード

デバイスコマンド

以下のQRコードをスキャンして、デバイスの共通シリアルポートコマンドを取得してください。

コマンドリストには、すべての Hikvision アクセス制御およびビデオインターコムデバイスで一般的に使用されるシリアルポートコマンドがすべて含まれていることにご注意ください。



図B-2 デバイスコマンド

